

第4期川和地区地域福祉保健計画の取組に向けた検討事項

第4期川和地区地域福祉保健計画の取組		第3期川和地区地域福祉保健計画の具体的な取組	優先度	19/5/25地域懇談会で討議した第3期川和地区地域福祉保健計画及び20/3/13第4期川和地区福祉保健計画検討委員会の具体的な検討項目をベースとした 第4川和地区地域福祉保健計画の取組に向けた検討事項
1	地域団体が情報交換して理解を深める	関連団体の定期的なミーティングを通じた情報交換をする。		<p>関連団体の定期的なミーティングは多くやっているが、その繋がりがうまくいっていない。</p> <p>福祉施設/加賀原ケアプラザ/川和地区社協の情報交換会である川和地区福祉ネットワーク交流会を活用して相互理解を深める。</p> <p>連町、地区社協、民児協やその他地域団体が情報交換の場で活動状況を発信し理解をお互いの深める</p> <p>『つながり♡ネット』で町内会・自治会の福祉に関する情報を共有する</p> <p>新規:</p>
2	地域団体の活動をPRする	活動のPRをする		<p>回覧板が多いが福祉活動を周知することで理解が広まるので、どうしたら見てもらえるのか情報発信の工夫をする。地域団体は連合町会HPにて情報提供する。</p> <p>消費生活推進員の活動を充実して、その活動をPRする。</p> <p>新規:</p>
3	活動の担い手（ボランティア）を育成する	活動の担い手の募集・育成し、有効利用する。		<p>福祉活動の継続には担い手の確保が必要であり、参加者にも役割を持ってもらう、地域人材バンクリストの作成等の方策を検討する。</p> <p>新規:</p>
4	定期的に川和地区地域福祉保健活動の進捗状況をまとめ、報告する	定期的に福祉保健活動の進捗状況をまとめ、報告をする。		<p>福祉保健活動のまとめ・報告について、地区社協からの報告を毎回各戸配布している。更に連合町会HPにて情報提供する。</p> <p>地区社協が開催している総会及び役員会で実施している</p> <p>新規:</p>
5	緊急時、困っている人々を助ける	高齢者が楽しみながら活動し、安心して住める地域をつくる。		<p>救急隊への情報提供バックを配布し、緊急時/災害時に利用することとする。個人情報の記入へ啓蒙活動をする。</p> <p>都筑区と「災害時要援護者情報の提供に関する協定」を締結して要援護者の名簿の提供を受けて訪問する。</p> <p>そなえは19/5/25地域懇談会で討議しなかった。そなえ啓蒙のためにアンケートを実施する。そなえガイドの再配布する。</p> <p>特に水害時の対策が不十分である</p>
		●そなえマップの更新		<p>つながり♡ネットは19/5/27地域懇談会で討議しなかった。町内会・自治会でつながり♡ネット(会議)の構築する。福祉に関する問題が発生した場合、解決のためのつながり♡ネット(会議)を開催する。</p> <p>福祉に関する問題・課題の解決のために『つながり♡ネット』を開催する</p> <p>新規:</p>
		●つながり♡ネットの構築		<p>新規:</p>
6	平常時、要援護者の見守り・声かけに取り組む	●川和連合ふれあいたいの活動の充実		<p>川和連合ふれあいたいは19/5/26地域懇談会で討議しなかった。川和連合ふれあいたいの活動の充実を継続する。</p> <p>『川和連合ふれあいたい』の取組を強める</p> <p>新規:</p>

駐1: 斜体太字は追加、その他は19/5/25第3期川和地区地域福祉保健計画の検討内容

駐2: 網掛けは、20/3/13第4期川和地区福祉保健計画検討委員会の討議内容

第4期川和地区地域福祉保健計画の取組に向けた検討事項

第4期川和地区地域福祉保健計画の取組		第3期川和地区地域福祉保健計画の具体的な取組	優先度	19/5/25地域懇談会で討議した第3期川和地区地域福祉保健計画の具体的な検討項目をベースとした 第4川和地区地域福祉保健計画の取組に向けた検討事項
7	子どもを健やかに育てる環境を充実させる	子どもを健やかに育てる環境・仕組みづくりをする。		夏祭りの情報を学校(子ども世帯)へ配布、小学校で認知症サポーターの講習会、青指が主催する凧揚げ大会/ふれあいスポーツデイが開催されているが、更にランドゴルフ、地域の伝承機会等を開催して多世代交流の機会を増やす。 高齢者クラブ/子ども会での「子どもサロン」、子ども食堂等の開催を検討して地域でのこどもの受け皿をつくるとともに異世代の関わりを増やす。 「遊びの広場」等既存のサロンを充実する PTA校外委員が機能している 新規:
8	助け合える関係をつくるため、学校との連携を強め、高齢者のイベントに子どもが参加する等の多世代交流の機会をつくる	学校との連携を増やし、多世代交流の機会をつくる。若い世代と年配の世代が助け合える関係をつくる。		地域・子供会及びPTA・学校が情報提供して連携を深める。 学家地連の活動を活発にし、また学校地域コーディネータ制度の周知をすすめる。 「歩け歩け大会」、「連合体育祭」、「お祭り」等既存の多世代交流イベントを充実する 学家地連の活動をサポートする 「遊びの広場」等既存の子ども向けサロンや「リハビリ教室」、「高齢者クラブ」等の高齢者向けサロンでお互いに交流する 多世代交流のラジオ体操、公園掃除等を開催する 障がい者の定義を明確にする必要がある 新規:
9	高齢者、障がい者、子育て世代などが楽しみながら活動し、孤立しない安心して住める地域をつくる	高齢者が楽しみながら活動し、安心して住める地域をつくる。		高齢者クラブの活動が活発でまたリハビリ教室、お楽しみ会等が実施されているが、更に公園の花壇づくり、健康麻雀等イベントを「点」で開催し、いつでも話ができる場所をつくる。 サロン等に来られない方の送迎や買い物・通院サポートを検討する。 サロンなどの集団に参加したくない人のため、個別対応(訪問しての話し相手等)を検討する。 特に孤立している高齢者、障がい者、子育て世代などが不十分である 川和アート展を開催する 既存の民生委員/ケヤマ交流会、川和福祉ネットワークを開催する 新規:
10	健康に目を向け、元気な生活を続ける	健康に目を向け、元気な生活を続ける。		歩け歩け大会や運動会などの地域イベント及びコミハやケアプラザで多様な健康活動が実施されている。 あいさつから人間関係を濃くする。 保活が開催している健康チェック等が活動の中心である 「川和マスターズアカデミー」等既存の健康に関するイベントを開催する 新規:

駐1: 斜体太字は追加、その他は19/5/25第3期川和地区地域福祉保健計画の検討内容

駐2: 網掛けは、20/3/13第4期川和地区福祉保健計画検討委員会の討議内容

駐3: 優先には大（主要項目で今回意見交換）、中、小を2021/12/25地区懇談会で集計する。